

# 新年のごあいさつ



## 夢を叶える行動の年

朝来市長

高橋 昭

新年あけましておめでとうございます。『一年の計は元旦にあり』新たな年の最初の一日、市民の皆様も清々しい気持ちで思い思いの『計画』を立てておられることと存じます。皆様にとりましてその思いが大きく実を結ぶすばらしい一年になりますよう、心からお祈りいたします。

昨年は竹田城跡が日本国内だけでなく広く海外のメディアにまで取り上げられ注目を集めた一年となりました。朝来市の名声が世界中に響き渡ったこと、大変嬉しく思います。竹田城跡への観光客数は年々増加しており、今年はその対応策にもさらに力をいれていきたいと考えております。

さて、私は本年、小職に就任させていだいて三年目を迎えるにあたり、本年度は市民の皆様と共に夢を叶えるための行動の年として位置づけ、諸施策をさらに積極的に推進していくよう考えています。昨今、本格的な地域主権のまちづくりが叫ばれ、地域の自主性が重んじられ

る中、参画と協働に基づくまちづくりへと時代は確実に変化をしています。

これからのまちづくりで大事なことは、市民の皆様がそれを「誰に任せるか」ではなく、「誰と共に取り組むか」だと考えます。つまり「市民参加型」の地方自治の実現こそが最も重要であると思っております。

「心優しい温もりある市政」これが私の政治信条であり、その中には市民の生命と財産を守りつつ安全・安心なまちづくりや市民皆で築き上げる対話のあるまちづくりを中心に配し、施策の推進にあたりたいと考えています。

市民の皆様の声、目線に立つて施策を考え実施していこう、それがためにはもっとももっと市民の皆様のお近くにアウトプットしてきまな声を聞いて形付けていこう、そのような思いで就任以来、月に二回のペースで開催している「ふれあい市長室」は、これまでに48地区を数え、さらに非公式に訪問させて頂いた地区を数えると半数以上の地区にお邪

魔させて頂きました。多くの市民の皆様とお会いし、現場にも出ながら真摯に率直な意見交換をさせていただいています。

多くの市民の皆様が日常的に市政に関わっていただく「市民参加型」の市政は、朝来市の「自立・自律」につながっていくと確信しています。一人でも多くの市民の皆様は、朝来のまちづくりに参画いただくため、私も市職員もできるだけ市民の皆様に近い場所、市民の皆様と共に考え、汗を流していきたいと思っております。

夢は夢のままであってはならない、よい夢は市民を挙げて現実のものにしていく、そんなチャレンジの年、自身三年目を迎える本年度はそんな一年にしてまいりたいと考えています。

どうか、皆様には引き続き格段のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。皆様にとりまして本年が幸せに満ち溢れた年となることを心から祈念申し上げます。新春のご挨拶といたします。